

「(仮称)佐賀県唐津市沖洋上風力発電事業 計画段階環境配慮書」
に対する環境大臣意見

本事業は、アカシア・リニューアブルズ株式会社及び大阪ガス株式会社が、佐賀県唐津市沿岸の海域において、最大で出力 600,000kW の洋上風力発電所を設置するものであり、再生可能エネルギーの導入・普及の推進により、地球温暖化対策に資するものである。

一方、本事業の事業実施想定区域(以下「想定区域」という。)の周辺には、複数の住居及び児童養護施設その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設(以下「住居等」という。)が存在する。

また、想定区域及びその周辺は、ツル類やハチクマ等の渡り経路が存在している可能性がある。

さらに、想定区域及びその周辺は、「生物多様性の観点から重要度の高い海域」(平成 28 年 4 月環境省)に選定されている。

加えて、想定区域の周辺には、自然公園法(昭和 32 年法律第 161 号)に基づき指定された玄海国定公園が位置しており、当該国定公園の利用施設計画に位置づけられている「波戸岬」や馬渡島内の「番所の辻展望台」等の主要な眺望点が存在している。

以上を踏まえ、本事業計画の更なる検討に当たっては、以下の措置を適切に講じられたい。また、それらの検討の経緯及び内容については、方法書以降の図書に適切に記載されたい。

1 総論

(1) 対象事業実施区域等の設定

対象事業実施区域の設定並びに風力発電設備及び附帯設備(以下「風力発電設備等」という。)の構造・配置又は位置・規模(以下「配置等」という。)の検討に当たっては、現地確認を含む必要な情報の収集・把握を適切に行い、計画段階配慮事項に係る環境影響の重大性の程度を整理し、反映させること。

(2) 累積的な影響

想定区域及びその周辺においては、他の事業者による複数の風力発電所が稼働中又は環境影響評価手続中であることから、本事業とこれらの風力発電所による累積的な影響が懸念される。このため、既存の風力発電設備等に対するこれまでの調査等から明らかになっている情報の収集、環境影響評価図書等の公開情報の収集、他の事業者との情報交換等に努め、累積的な影響について適切な調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、風力発電設備等の配置等を検討すること。

(3) 関係機関等との連携及び地域住民等への説明

本事業計画の今後の検討に当たっては、関係機関等と調整を十分に行い、方法書以降の環境影響評価手続を実施すること。また、地域住民等に対し丁寧かつ十

分な説明を行うこと。

(4) 環境保全措置の検討

環境保全措置の検討に当たっては、環境影響の回避・低減を優先的に検討し、代償措置を優先的に検討することがないようにすること。

(5) 最新の知見の反映

本事業の調査、予測及び評価については、最新の知見、先行事例の知見及び専門家等の助言を踏まえ適切に実施すること。

2 各論

(1) 風車の影に係る影響

想定区域の周辺には、住居等が存在しており、稼働時における風車の影による生活環境への影響が懸念される。このため、風力発電設備の配置等の検討に当たっては、住居等への影響について適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、風力発電設備を住居等から離隔すること等により、風車の影による生活環境への影響を回避又は極力低減すること。

(2) 鳥類に対する影響

想定区域及びその周辺は、ツル類やハチクマ等の渡り経路が存在している可能性があるほか、想定区域の周辺では「環境省レッドリスト 2020」(令和2年3月環境省)で絶滅危惧 A類に分類されているウミスズメ等が確認されていることから、本事業の実施により、風力発電設備への衝突事故及び移動経路の阻害等による鳥類への影響が懸念される。このため、風力発電設備の配置等の検討に当たっては、専門家等からの助言を踏まえ、鳥類に対する適切な調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、環境保全措置を講ずることにより、鳥類への影響を回避又は極力低減すること。

(3) 海生生物に対する影響

想定区域及びその周辺は、「生物多様性の観点から重要度の高い海域」に選定されており、本事業の実施による海生生物への影響が懸念される。このため、風力発電設備等の配置等の検討に当たっては、海生生物の生息及び生育基盤として重要な自然環境のまとまりが存在する区域を明らかにした上で、専門家等からの助言を踏まえ、適切な調査、予測及び評価を行うこと。また、その結果を踏まえ、環境保全措置を講ずることにより海生生物への影響を回避又は極力低減すること。

(4) 景観に対する影響

想定区域の周辺には、自然公園法に基づき指定された玄海国定公園が位置しており、当該国定公園の利用施設計画に位置づけられている「波戸岬」や馬渡島内の「番所の辻展望台」等の主要な眺望点が存在していることから、本事業の実施により、これら主要な眺望点及び利用施設からの眺望景観への影響が懸念される。このため、風力発電設備等の配置等の検討に当たっては、現地調査により主要な眺望点からの眺望の特性、利用状況等を把握した上で、フォトモンタージュ等を作成し、垂直見込角、主要な眺望方向及び水平視野も考慮した客観的な予測及び評価を行い、その結果も踏まえ、眺望景観への影響を回避又は極力低減するため、主要な眺望点から最大限離隔距離を取る等の措置を講ずること。また、事業計画の具体化並びに調査、予測及び評価に当たっては、重要な眺望景観について、これら管理者及び地方公共団体その他の関係機関並びに地域住民等の意見を踏まえること。